

競技注意事項（申し合わせ事項）

1 競技規則について

本競技会は、2016 年日本陸上競技連盟規則及び本大会の申し合わせ事項によって行う。

2 招集及び棄権について

(1) 招集所はメインスタンド北側の選手控えホール（100mスタート付近）に設置する。

	トラック種目	フィールド種目 (棒高跳を除く)	棒高跳
招集開始時刻	競技開始 40分前	競技開始 60分前	競技開始 80分前
招集完了時刻	競技開始 20分前	競技開始 40分前	競技開始 60分前

(2) 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所で点呼を受けて待機し、競技者係の指示に従い移動する。

(3) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねる競技者は、あらかじめ最初の種目の招集時に、その旨を競技者係に本人が申し出ること。

(4) リレーのオーダー用紙については、予選、決勝とも招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係へ提出すること。また、招集は規程どおりに受けること。

(5) リレーエントリー競技者以外からリレーに出場する場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

(6) 招集完了時刻に遅れた競技者及びリレーのオーダー用紙の提出が遅れたチームは、当該競技種目を棄権したものと処理する。

(7) 棄権する場合は、本人または監督が棄権届（招集所に準備）を招集開始時刻前に招集所に提出すること。

3 競技場の開閉門について

(1) 本競技場の開閉門時間は以下の通りである。

(2) 競技終了後のダウン等はレクリエーション広場または北陸上競技場で行い、閉門時間後のミーティング等は本競技場の外で行うこと。

	前日 8月23日（火）	1日目 8月24日（水）	2日目 8月25日（木）
開門	10:00	8:30	7:30
閉門	16:30	17:00	16:30

4 競技について

(1) 競技用靴について（競技規則第 143 条 2・3・4・5・6 参照）

スパイクピンは 9mm 以下、ただし、走高跳とやり投については 12mm 以下を使用すること。

(2) ナンバーカードについて（競技規則第 143 条 7・8・9 を厳守）

① 全ての競技者は、ユニフォームの胸・背に折らずに着けること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに着ければよい。

② トラック競技出場者（リレー競技は第 4 走者のみ）は、腰ナンバー標識を使用する。

腰ナンバー標識は、招集時に受け取り、フィニッシュ後、ただちに係員に返却すること。

- (3) スターターの合図は英語とする。不正スタートについては、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする(規則 162 条 7 参照)。
- (4) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も同じレーン（曲走路）を走ること。
- (5) 男子 5000m 競走では、気象状況に応じて、バックストレート側に給水を用意する。
- (6) リレー競技について（規則第 170 条）
 - ① メンバー編成は、予選・決勝とも2名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。それ以外の2名はプログラムに記載されている競技者であれば出場できる。決勝では2人以内に限り交替できる。
 - ② 4×100mRの第 2, 3, 4 走者が使用する粘着テープ（最大50mm×400mmのマーカ）は、各ゾーンの出発係から受け取る。これ以外のマーカを置くことは許されない。
 - ③ 男子4×400mRの第 3, 4 走者は審判員の指示に従い、前走者が第3コーナーのフラッグを通過した順に、内側より並んで待機する。その後この順序を維持し、バトンを受けるまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。
- (7) 抗議と上告は規則第 146 条により行うこと。競技結果または行為に関する抗議は、結果発表後予選は 15 分以内、決勝は 30 分以内に競技者自身または監督が担当総務員に申し出る。
- (8) 男子砲丸投と円盤投の記録公認について、高校・ジュニア規格を使用するため、2016年12月31日現在で19 歳を超える競技者は記録が公認されない(生年月日記入)。但し、全国高専記録及び大会記録は従来どおり認めるものとする。

5 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳のバーの高さは、競技者が最後の1人になり優勝が決まるまでは次のとおりとする。但し、気象状況等により審判長の判断で変更する場合もある。また、下記以外の公式練習については任意の高さとする。

	練習	1	2	3	4	以降
男子走高跳	1m70	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 3cm
女子走高跳	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm
男子棒高跳	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	以降 10cm

6 計測ラインについて

男女走幅跳及び男子三段跳は、計測ラインは設定せず、全競技者の有効試技を計測するものとする。

7 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者で用意したものを使用すること。
- (2) 棒高跳用ポール及び投てき物については個人所有のものを使用することができるが、投てき物は検査を受け許可された物とし、参加競技者が共有するものとする。
- (3) 用器具の検定は、招集完了 1 時間前に用器具庫（1コーナースタンド下）にて行う。

8 表彰について

各種目の 1 位から 3 位の競技者には賞状とメダルを、4 位から 8 位の競技者には賞状を授与する。入賞した競技者(代理可)は、競技終了後直ちに表彰を行うので、本部横の表彰者控え室に集合し、表彰係の指示に従うこと。また、表彰時の服装については上半身ユニフォームが望ましい。

9 練習について

- (1) ウォーミングアップ及び練習は、北陸上競技場、雨天練習場、レクリエーション広場を使用すること。レクリエーション広場については、一般利用者との共用となるので注意して使用すること。

- (2) 走高跳、棒高跳の当日練習については、本競技場内で審判の指示に従って行うこと。
- (3) やり投、円盤投、砲丸投の当日練習については、本競技場内で審判の指示に従って行うこと。北陸上競技場、レクリエーション広場での投てき練習は行わないこと。
- (4) 練習場の使用については、競技役員の指示に従い安全に留意すること。

	使用区域・条件	前日 8月23日(火)	1日目 8月24日(水)	2日目 8月25日(木)
本競技場	1～2レーン長距離 3～6レーン短距離 7～8レーンハードル	10:00～16:30 トラック 10:00～16:30 やり投・砲丸投 10:00～16:30 男子走幅跳・三段跳 ※フィールドの芝生内にはやり投選手以外は立ち入らないこと。	8:30～9:15 トラック	7:30～9:00 トラック
北陸上競技場	1～2レーン長距離 3～6レーン短距離 7～8レーンハードル	13:00～16:30 トラック 13:00～16:30 円盤投	8:30～17:00 トラック	7:30～14:30
雨天練習場	北から南(100mスタートからゴール方向) へ一方通行	使用禁止 (雨天時のみ使用可)	8:30～17:00	7:30～14:30

10 その他

- (1) 記録の正式発表は、大型ビジョン並びにアナウンスで行う。また中央階段を上がったところに掲示する。各校への配布は行わない。
- (2) 競技場内通路及びメインスタンドでの集団の連呼応援は禁止する。
- (3) 競技中の負傷については医務室にて応急処置を行うが、その後の処置は各校で行うこと。
- (4) ゴミ袋を学校受付の際に配布するので、清掃を徹底して確実にを行い、ゴミは各高専が責任を持って持ち帰ること。
- (5) バックスタンドへの立ち入りは制限しない。
- (6) 部旗、横断幕の掲出は、バックスタンド最上段のみとする。
- (7) 更衣室及び雨天練習場での場所取りは禁止する。
- (8) シート固定等でテープを使用する場合は布製テープのみとする。
- (9) メインスタンドの座席及びメインスタンドでのテント設営は禁止する。
- (10) 駐車は地下駐車場を利用すること(1日500円)。バスは野球場北側駐車場を使用すること。
- (11) メインスタンド下での競技場内通路は関係者以外の通行を禁止する。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レーンの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の人には立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

